

片瀬だより

令和2年9月25日発行
編集・発行
片瀬だより編集委員会
藤沢市片瀬3丁目9番6号
片瀬公民館
電話 (29)7171

今年度の「ふれあいまつりについて」

今年度の「ふれあいまつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とさせていただきます。詳細につきましては、2面をご参照ください。

公民館事業のお知らせ

○申込みはすべて本館での受付になります。

片瀬公民館(本館)

- ☆ 己書幸座(おのれしょ こうざ)～思うがまま自由に描こう～全2回
10/17(土)・10/31(土)10時～11時30分 材料費1,200円 持ち物 筆記用具
※ 10/5(月)8時30分～ 来館または電話で申し込み(先着20名)
- ☆ みんなでラジオ体操
10/8(木) 11/12(木) 11/26(木) 12/10(木) 12/24(木) 午前8時40分～
- ☆ 楽しく子育て～保育室で遊ぼう～
10/22(木) 11/11(木) 12/10(木) 午前中
※ 詳細は、お問い合わせください。
- ☆ おもちゃの病院
10/24(土) 11/21(土) 12/19(土) 午後1時30分～午後3時
※壊れたおもちゃを直します。修理部品代は実費負担
- ☆ 教育文化講演会 11月25日(水)
※詳細は地域回覧をご覧ください
- ☆ シネマ倶楽部
10/27(火) 11/30(月) 午後1時30分～ 各回 24名
※ 申し込み方法:電話または来館で
- ☆ 講演会「杉山和一(検校)と江の島」について 共催:郷土歴史課
12/6(日) 午後2時～ ※ 詳細は広報・地域回覧をご覧ください



すべて8月25日現在の予定のため、変更されることもございます。ご了承ください

片瀬しおさいセンター(分館)

- ☆ 卓球・バドミントン開放
詳細は地域回覧にて、ご確認ください
- ☆ 講師付き公開講座
12/17(木) 9時30分～10時30分
※ 12/2(水)8時30分～片瀬公民館本館に来館または電話で申し込み
- ☆ 手芸のじかん～手芸好きの方のフリースペース～
9/28(月) 10/5(月) 12/14(月) 午前10時から正午
材料・道具は各自お持ちください
- ☆ しおさいコンサート(旧 ロビーコンサート) ～ハーブとシンセサイザー～
12月12日(土)13:30開場 14:00開演 場所 しおさいセンター体育室
八木 健一氏 (ハーブ)・八木 ゆみ子(シンセサイザー)
定員 100名 ※当日、直接会場にお越しください(履物をご持参下さい)



11月1日～30日の間は、しおさいセンターは空調設備改修工事のため休館させていただきます。

第43回片瀬地区ふれあいまつり
開催中止について



大変残念なお知らせです。秋に予定していた第43回「片瀬地区ふれあいまつり」は中止します。その理由は、新型コロナウイルス感染症防止のためです。

藤沢市は、新型コロナウイルス感染症防止に向け、公民館事業について次のように取り組んでまいりました。

(1)6月30日迄の事業を中止する
(2)7月以降の事業は基本的な感染対策のほか、参加者が特定でき、屋内にあつては収容人員の半分のものについて実施する

(3)公民館まつりについては、
①模擬店・福祉バザー・ダンスパーティーは中止する

②サークルの発表のみとし、従来の実施時期に集約させず各館の状況に合わせて実施する

また、公民館使用については、消毒、マスク着用、室内換気、座席間の十分な確保と対面着席を避ける、大声での発声・歌唱・声援・近接会話等の禁止、館内調理と食事の禁止等の制限があります。

このため、ふれあいまつりでは人氣を集めた模擬店やバザー等は出来ません。サークルの発表も、年度当初から活動が出来なかったことや参加者や観客及び会場等の制約がある中では、難しいと考えています。

皆さんが楽しみにしていた恒例の片瀬小6年生による鼓笛パレードもご覧いただくことが出来ません。8月末現在、神奈川県の新コロナ感染者数は依然として高い数値です。藤沢市も、感染者は増えており、早急な収束は難しい状況です。

公民館では、まつり中止に伴い、各サークルの意向を調査し、時期を変えたサークル紹介や発表会等の事業を模索しています。

また、協力頂いてきた小中学校の活動発表の場も模索しています。しかし、全ては新型コロナウイルスの感染状況次第だと考えます。

以前にも、ふれあいまつりの中止や中断はありました。しかし、今年は天候状況ではなく、早々に中止を判断する状況となりました。

この状況が収束しなければ、今後の公民館事業は大きな見直しが必要という事態だと判断しています。

どうか、皆様には新型コロナウイルス感染症防止に努められ、元気に秋を迎えられますよう祈念しております。

令和二年八月二十五日
片瀬地区ふれあいまつり

実行委員長 落合英雄
片瀬公民館長 横田淳一

2020 コロナ禍の夏

新型コロナウイルスの影響で、今夏の県内の海水浴場は全て開設されないことになりました。片瀬海岸の東浜、西浜も開設されませんでした。夏の到来を告げる海開きのセレモニーも開催されず、感染防止策の徹底のため、海の家の営業も見送られる異例の夏となりました。

しかし海難事故、ゴミ放置の問題など懸念される事柄が多いのが実情です。市では「藤沢市夏季海岸ルール」を作成・運用することになりました。

7月半ばからは、神奈川県ライフセービング協会から派遣された「ライフセーバー」により、マナーアップや利用者の安全監視・指導が行われました。また、新しい試みとしてドローンによる監視・パトロールが土日祝日を基本とした、日中1時間おきに行われました。



海岸の各所に立てられた看板

2020年7月東浜

2020年7月西浜

2019年7月西浜



幻の遊園地

「江の島龍口園」ものがたり

喜清 みずほ

「昔、龍口寺の裏山に遊園地があった」

「巨大なエレベーターがそびえ立っていた」

片瀬の町で都市伝説のようにささやかれながら、いつ、だれがつくり、どんな姿だったのか長らく不明とされてきた遊園地「江の島龍口園」。

この連載では、昭和という時代のはじまりに、聖なる山が子供たちの楽園として輝いた一瞬の軌跡をよみがえらせてみたい。



AMOUS PLACE OF ENOSHIMA
江の島龍口寺

片瀬山丘陵の南端に位置する龍口山。相模湾に大きく開けた山上は、江の島、遠くに大島・富士山を望み、その絶景は明治期より数々の絵葉書となっていた。

山ははるか昔、悪行さんまの五頭

龍が江の島に降臨した弁才天により改心し、形をかえたものと伝わる。五頭龍を「祭神とする「龍口明神社」

(現在は移転)、日蓮上人の霊跡の地である龍口寺、さらには龍口寺を守る輪番八箇寺に囲まれ、伝説と祈りの地としてその歴史を刻んできた。

大正時代にはいり、片瀬の町はそれまでの宗教的な参詣地 江の島への玄関口としてだけでなく、「観光」自体に楽しみを見つけたのはじめた庶民の訪問地としてさらに人気を高めてゆく。その遊覧客をとりこむ動きとして、龍口寺をはじめ近隣の日蓮宗寺院によって龍口山山上の整備が始まった。

「昨年(大正2)より、山を切り拓き、山上へ自動車が上がれる道路をつくり、花木を植栽し、釈迦堂、池、グラウンドも設けた五万坪の一大遊園を作り出そうとする計画が進んでいる」(『横浜貿易新報』大正3年7月23日記事要約)

龍口山は「神奈川県下に新しい避暑地を選ぶ」という同時期の新聞社主催の人気投票で第8位となるのだが、この周辺寺院による大正初期の「遊園計画」が完成をみたのかは残念ながらわかっていない。

しかし、記事に「あずまやを備えた山上の平地」の写真がそえられていること、また、のちの龍口園建設時にその工期が非常に短かったことを考えると、この時に山上はかなりの規模で整地されていたのだろう。

さて昭和2年8月15日。これが、遊園地「江の島龍口園」の開園日である。

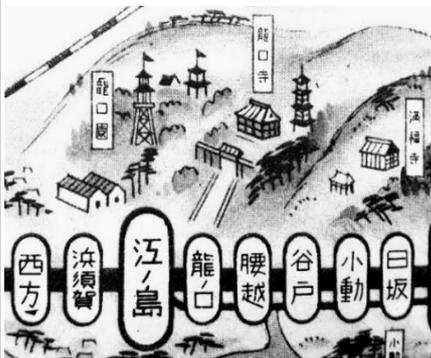
経営は同年2月に、東京の実業家森辨治郎(もり べんじろう)が設立した「湘南興業株式会社」である。

この森辨治郎という人物、その後、昭和5年に大船「片瀬間に開通する日本初の自動車専用道路(ほぼ現在の湘南モノレール軌道下の道)の敷設計画を、龍口園の建設前年である大正15年に国に申請し許可を得ている。同じ人物によって短期間に、「片瀬を

終点とする道路敷設申請」「遊園地経営会社の設立」「遊園地の建設・開園」と続けて行われていることから、遊園地「龍口園」は、「自動車専用道路開通による片瀬方面への観光客増加をいのではないだろうか。

今回は、実際の「龍口園」の様子を、当時を知る方のお話や古い絵葉書の写真から浮かび上がらせてみたい。

〈筆者紹介〉
喜清 みずほ(きしよほう みずほ)
鎌倉観光文化検定一級初代ホルダー。鎌倉観光ガイド



昭和3年頃の観光案内(部分)

特集記事について

湘南モノレールのウェブサイト「ソラレブライン」に昨年(2019)から喜清みずほさん執筆による「まぼろしの遊園地江の島龍口園」という記事が連載されました。

掲載されていた龍口園の写真を見て驚きました。片瀬山公園に遊園地があり、東り町から山へ登るエレベーターが映っていたからです。

これはぜひ「片瀬だより」で皆さんにお知らせしたいと思いました。そこで前出の喜清さんに「龍口園」についての特集記事執筆をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。連載は3回の予定です。



中村喬さんと秋元龍子さん



また、本紙に「ふるさと片瀬」を執筆する中村喬さんから、龍口園のことは、秋元龍子さん(99)なら思い出をお持ちではと伺いました。幸い、東り町に住む秋元龍子さんから了解を頂き、思い出を伺う会を開くことが出来ました。そのお話は特集記事の第2回に掲載する予定です。新たな片瀬を知って頂けたら幸いです。

片瀬だより編集委員会

ふるさと片瀬

〜今昔あれこれ〜 ㊹

片瀬餅つき唄のこと 中村 喬

片瀬諏訪神社のお祭りでは毎年披露される片瀬餅つき唄の舞台が楽しい。神主さんの挨拶もあって伝統文化としての重さが加わる。つかれた餅は集まった地域の人たちにまかれる。縁起物でありそれぞれが大事に持ち帰る。

大正三年生まれの母親が亡くなる直前まで口ずさんでいた唄がある。江の島見たか江戸見たか 江戸は見た 江の島名勝

まあだ見ぬ・・片瀬餅つき唄の一節である。母は長いこと片瀬餅つき唄保存会のメンバーとして活動させて頂いた。歌詞の一節からも分かるように、唄の歴史は古く遠く江戸時代にまでさかのぼることが出来る。唄はねり唄とつき唄の二つに分かれている。ねり唄のテンポはゆっくりだが、つき唄になると四人で交互に打ち下ろす杵の音に合わせて速くなる。

唄の文句にまた味がある。へ相州片瀬のもどりの松は 松は枯れても名は残る」と地域を表したかと思えば、へジンジとバンバが寄れば嫁のこと 嫁のこと言はなきやお茶がのめない」と往時の暮らしを言葉に残す。

かつて餅つきは近隣の人たちが集まって、賑やかに行われた。餅米をとぎ、釜を焚き、せいろで蒸して、餅つき唄に合いの手を入

れながら、次々とつきあげたものだった。今その様子を見ることは出来なくなつたが、片瀬餅つき唄保存会の活動は続けられている。地域の有志の方々のご尽力で、子どもたちを巻き込んだ活動が年間を通して行われている。藤沢市の無形民俗文化財でもあるこの唄が未永く歌い継がれることを願ってやまない。

【宵宮にまかれる餅を 賜ひけり】



クローズアップ片瀬

【西浜橋】

2019年の台風19号で倒壊した西浜橋の欄干は改修工事が終了し、川面が見える見通しの良い橋になりました。



【江の島弁天橋】

歩道の改修工事が終了し、新しくなりました。



編集後記

近年、豪雨災害は大変なものです。また、新型コロナウイルス禍で江の島海水浴場の閉鎖や地域でのお祭りや行事も中止となりました。人とふれ合い学ぶ機会が無くなるのは寂しい事です。市民センターでは消毒液を配布していました。

新型コロナウイルスは厄介な感染症で、ワクチン・治療薬が待たれます。「3密」を避け、マスク・手洗い・うがい等、日常的に心掛けることが大事です。熱中症にも気をつけながら...

7月31日 記(佐)

図書館だより

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも一人6冊まで2週間借りられます。

〈開室時間〉

火曜日〜日曜日 午前10時〜午後5時

〈新刊案内〉

令和2年8月現在

チンギス紀⑧ 香冥 北方 謙三

破局 遠野 遙

女帝小池百合子 石井 妙子

きょうのおやつ 井上真理恵

かいけつゾロリの レッドダイヤを探せ!

原 ゆたか

こども六法 山崎聡一郎

ヒロシマ消えた家族 指田 和